

2018

広報

みなみいず 4

No. 574

満開の桜並木を散歩

— 2月10日～3月10日

— みなみの桜と菜の花まつり —



3月定例町議会



平成30年南伊豆町議会3月定例会が2月27日から3月16日まで開催され、「南伊豆町附属機関設置条例の一部を改正する条例制定について」などが原案どおり可決されました。

行政報告（要旨）

石廊崎オーシャンパーク 開園に向けて

平成29年度事業においては、昨年度の継続事業として温室等解体工事及びアクセス道路整備工事を進めてまいりました。

このうち、温室等解体工事分については本年1月11日に完了し、2工区体制で分離発注したアクセス道路整備工事については、県道との接続部分にかかる入口約10mを残した地点から、施設内駐車場入口までを繋ぐ、幅員7m、総延長約800mの整備が完了する予定となっております。

また、平成30年度は、乗用車で100台、大型バス10台程度の収容規模を有する駐車場を整備し、軽食等の飲食が提供可能な休憩棟のほか、残された県道との接続部分にかかる約10mの道路整備に着手してまいります。

当該施設の指定管理者の選定については、昨年11月の第1回選定委員会において非公募による指定管理者の選定が決議され、候補者として石廊崎区が承認されたことから、本年1月22日には第2回委員会を開催し、同区役員によるプレゼンテーションが実施されました。

プレゼンテーションでは同区による出資金をもって、当該施設の

初期投資や維持・管理に臨むとした財政計画が示され、また、広域的な観光情報の発信、飲食・特産品の販売、各種イベント等の事業化を通じた雇用の拡大を目指すとともに、町内はもとより伊豆全域に向けた新たな人の流れを創造するなかで、可能な限り地域活性化に貢献することが提案されております。

以上のことから、同選定委員会の答申を踏まえつつ、同区が早期に予定する一般社団法人化の動向に注視しながら、指定管理者の指定手続きを進めてまいります。

特別養護老人ホーム 「エクレシア南伊豆」開設

全国初となる自治体間連携に基づく特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」の開設に向けては、本年1月31日に引き渡しが完了しました。

当該施設の概要は、木造一部RC造3階建て、延床面積5,575㎡、全ユニット個室となっており、入所定員90人、短期入所生活介護10人、通所介護25人が確保され、入所者を交えた杉並区民・町民との地域交流スペースも整備されております。

ここに至るまでの間、当該事業にお力添えを賜りました国・県の関係者の皆さまをはじめとして、

万全な体制整備に向けて奔走された社会福祉法人梓友会のご尽力に対しまして、衷心より最大の敬意を表するところであります。

今後も賀茂圏域内における介護・福祉事業の中心的な役割を担い、地域振興及び経済の活性化にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

健康福祉センター 運営に向けて

当該施設の建築工事においては、2月末現在の進捗率で99%となっており、3月15日には引き渡しが完了いたしました。

本施設は、町民の健康増進と福祉サービス向上に資するための中心的役割を担う施設として整備を進めてきたもので、施設規模においては、RC造2階建て、延床面積947.84㎡、用途として乳幼児から高齢者まで多くの町民が利用することを想定し、介護予防や高齢者の総合的な相談拠点である南伊豆町地域包括支援センターを配置し、地域福祉の推進役である社会福祉法人南伊豆町社会福祉協議会の事務所スペースも確保いたしました。

このほか、健康教室の開催や乳幼児の健康診断等に供する多目的スペース、会議室、相談室、診察室、授乳室、調理室なども配置し、

本町における健康・福祉・子育て支援事業における拠点施設とするもので、隣接する特別養護老人ホーム運営法人との連携強化に加え、地域包括支援センター及び社会福祉協議会が同一施設内に設置されることで、更なる地域包括ケアシステムの確立と深化が図られるものと確信いたします。

町民の皆さまには、当該施設の有効利用や各種健康・福祉事業への積極的な参画をお願い申し上げ、「健康長寿・生涯現役のまちづくり」の実現に向けた福祉環境の整備・充実に努めてまいります。

賀茂地域広域連携会議

平成27年度から、静岡県副知事、県議会議員、賀茂地区6市町の首長からなる「賀茂地域広域連携会議」が発足し、圏域内で可能かつ有効な広域連携の在り方などが検討されてまいりました。

このようななかで、平成28年度には「賀茂広域消費生活センター」及び「賀茂地方税債権整理回収協議会」が設立され、広域事務処理がスタートいたしました。

同債権整理回収協議会については、広域的な組織機能の検証から平成28・29年度の2か年を期限としたなかで、その有効性が実証されたことから、平成30年度以降も継続することとしております。

また、平成29年度には「賀茂地域地籍調査協議会」をもって、地籍・公図のデジタル化実務に着手しており、「賀茂地域教育振興センター」では広域による指導主事配置がスタートいたしました。

加えて、昨年12月15日には「賀茂地域介護事業所指定・指導監督推進協議会」の発足式が執り行われ、本年4月からの実務指導に向けて着々と準備が進められている

ところ です。

商工・観光振興の状況

1 ふるさと寄附

平成29年12月末現在の寄附件数では、10,382件で対前年度比100.1%、寄付の総額では3億1,315万99円で対前年度比97.3%となっております。

総務省が所管する「ふるさと納税制度」においては、運用当初の制度目的が形骸化し、返礼品の豪華さなどが注目されるなど返礼品競争が日常的となっていることから、各自自治体に対する返礼品割合の見直しや寄附金を活用した新たな方針などに関する是正指導が求められております。

このため、苦渋の選択となりましたが新年度からの返礼品割合を5割から3割に見直すことといたしました。

2 みなみの桜と菜の花まつり

2月10日から3月10日まで、「道の駅・下賀茂温泉湯の花」をメイン会場として「第20回みなみの桜と菜の花まつり」が開催されました。

開幕日の2月10日には、日野菜の花畑ステージにおいてオープニング神事が執り行われ、翌11日には同ステージを会場に菜の花結婚式が挙行されました。

今回当選されたお二人は下田市在住の加藤隆一様・友利江様で、下田高等学校吹奏楽部が奏でるメ

ロディーのなか、ご親族はもとより詰め掛けた観光客の方々からも多くの祝福が寄せられておりました。

伊豆にひと足早い春の訪れを告げる恒例イベント「みなみの桜と菜の花まつり」は、今年で節目の20回目を迎えたことから、特別企画「夜桜と菜の花イルミ」と銘打ち、メイン会場「道の駅」に隣接する青野川対岸部分の護岸面を活用し、来宮橋から九条橋までの約300mにLEDイルミネーションケーブルを配置したもので、スポットライト300基によりライトアップされた夜桜鑑賞に華を添える集客イベントとなっております。

また、2月17日には、町営銀の湯会館をスタート・ゴールとする「第2回みちくさ夜桜マラソン in 南伊豆町」が開催され、5キロ・10キロ・20キロの各部門にエントリーされた434人のランナーはライトアップされた桜並木の特設コースを堪能いたしました。

大会中は各所にて交通規制が行われ、多大なご迷惑をお掛けしたことと存じますが、町民の皆さまのご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

3 観光施設等の入込み

平成29年4月から12月までの観光施設等の入込み状況について、分野別では、主要観光施設で98,652人と前年度比103.0%、宿泊施設では157,134人で97.8%、町営温泉施設は72,861人で97.9%となりました。

観光施設等の入込状況（4月～12月）

区 分	平成28年度（人）	平成29年度（人）	前年度比（%）
宿泊施設	160,644	157,134	97.8
観光施設	95,795	98,652	103.0
温泉施設	74,386	72,861	97.9
合 計	330,825	328,647	99.3



これまで、本町で取り組んでまいりました地熱発電事業の事業化推進については、経済産業省のエネルギー政策に合致するエネルギーの地域自給に向けたものであり、自らの地域の在り方を自らの事として捉え、課題の解決に向けて積極的に取り組んできたものと認識しております。

本事業は、昨年の町長選挙の争点でもあったことから、地熱発電事業を再検討することとしてまいりましたが、当該周辺地域の方々や、各種産業団体等からの多種多様なご意見なども拝聴したなかで、本町における重要な観光資源である下賀茂温泉を保護し、後世に伝承していくことが我々に課せられた使命であるとの決断に至りました。

このため、今後においては、地熱発電に向けた熱源調査は行わないものとし、本年2月5日に締結した「地域活性化包括連携に関する協定」に基づくなかで、国で勧める自然再生エネルギー政策との整合性を図りつつ、茨城県大子町で稼働予定の発電プロジェクトを先進例としながら、エネルギーの地産地消や南上地域を中心とした新たな産業振興と地域活性化のほか、効果的な有害鳥獣対策となり得るバイオガス発電事業に着目し、木質バイオマス・ガス化発電技術を活用したプラントの誘致及び早期事業化を目指してまいります。

さらには、伊豆半島南部の観光

3月定例町議会

平成30年度 施政方針（要旨）

振興に不可欠な名勝石廊崎の再生、自治体間連携に基づく移住・定住施策の推進、健康福祉センターを核とした福祉施策の拡充、企業誘致に向けた環境整備・地域産業の活性化に直結する情報ネットワークの整備促進などについても、引き続き町民の皆さまのご理解とご支援をいただきながらその歩みを確かなものとしてまいります。

平成30年度は、結実しつつあるこれまでの取り組みをより一層加速させてまいります。今後ますます行政資源が限られていくことを踏まえ、常に中長期的な財政状況を把握し、健全経営に最大限の配慮を図りながら、将来にわたる安定的な行政サービスの提供に努めなければなりません。

とりわけ本町においては、少子高齢化による人口の減少、ライフスタイルの多様化などから住民ニーズも複雑・高度化しており、これら行政課題に対応するため絶えず情報収集に努めるとともに、自治体を取り巻く環境を的確に捉えながら開かれた町政の推進と町民の負託に応えるべく、職員の資質向上及び行政組織の体制整備を推進してまいります。

また、本町の財政状況においては、依存財源比率が極めて高く、国等の動向に左右されやすい状況にあることなどから、不測の事態に柔軟に対応できるよう「ふるさと寄附」等の財源確保に努め、財政調整基金等の充実を図りながら健全な町政運営に資することが肝要であります。

このようなことから、策定以来

9年目を迎える「第5次南伊豆町総合計画」に基づくなかで、さらなる事業推進を図り基本構想・基本目標に掲げる主要施策の総仕上げに取り組むとともに、「南伊豆町過疎地域自立促進計画」、まち・ひと・しごと創生法に基づく「南伊豆町人口ビジョン、南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び南伊豆町環境基本条例で定める「南伊豆町環境基本計画」の着実な履行に向け職員一丸となって取り組んでまいります。

自然を生かした地場産業の振興

平成29年3月定例会において「石廊崎オーシャンパークの設置及び管理に関する条例」が制定され、平成31年4月の供用開始に向けて大型駐車場及び休憩棟の整備費にかかる新年度予算を計上いたしました。

同施設の管理・運営にかかる指定管理者選定に関しては委員会からの答申を踏まえ、地元石廊崎区の要請を最優先としながら、早期法人化を見据えたなかで指定管理者を指定し、来園者の受け入れ体制を万全なものとしてまいります。

また、伊豆半島最南端の壮大な景観美をもって、かつての賑わいの再興が切望されるなかで、皆さまから寄せられる期待は極めて大きく、何よりも名勝石廊崎を基点とした観光再生は半島振興の基盤を成すものであることから、早期開園に向けて着実に事業推進してまいります。

健康長寿・生涯現役の まちづくり

全国初の自治体間連携に基づく特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」の建設工事は、本年1月31日に引き渡し完了しました。

ここに至るまでの様々なご尽力に対しまして、衷心より最大の敬意を表します。

また、隣接する南伊豆町健康福祉センターは、町民の健康増進及び福祉の向上に資する極めて重要な役割を担うものであることから、保健福祉行政の拠点に相応しい環境整備のほか、更なる施設機能の充実に努めてまいります。

なお、平成29年12月定例会において南伊豆町課設置条例の一部を改正する条例が可決され、本年4月から健康福祉課を健康増進課及び福祉介護課の2課体制といたします。

新体制をもって、よりきめ細やかな子育て支援体制を構築し、超高齢化社会に即した健康長寿・生涯現役のまちづくりに向けた健康づくり事業や福祉サービスの拡充が図られるものと確信するところであります。

教育・文化・子育て支援の まちづくり

次代を担う人材育成は、持続可能なまちづくりにおいても極めて重要な施策であると考えます。

本町においては、保育体制の適正確保や保育環境の充実に重きを置き、認定こども園及び子育て支援センターの建設整備やふるさと公園への遊具の設置、中学生までの医療費無料化のほか放課後児童クラブの導入など、様々な支援事業を展開してまいりました。

これまでの少子化対策に向けた各種支援体制の取り組みに敬意を表するとともに、子育て世帯等への更なる負担軽減に寄与すべく、

高校生までの医療費無料化及び通学費の半額補助を新規事業として予算化いたしました。

また、近年では地球温暖化の影響による異常気象など想定を超えた特異な気候変動が多々見受けられることから、適切な保育・教育環境の整備が急務との判断に至りました。

このため、南崎認定こども園及び小学校3校への空調機器設置費についても予算計上いたしました。

加えて、継続して取り組む子育て支援策については、保育料・給食費の無償化を検討しておりますが、昨年12月閣議決定された「新しい経済政策パッケージ」のなかで「人づくり革命」に必要とされる財源を平成31年10月の消費税引上げをもって確保したなかで、教育負担の軽減・子育て層支援などに適正配分するとしていることから、今後も国の動向に注視しながら保護者負担の軽減、子育て支援の更なる環境整備に努めてまいります。

産業振興で基盤の強い まちづくり

情報通信回線の高度化は、住民ニーズはもとより移住・定住、企業誘致施策においても極めて重要とされる社会インフラであります。このため本町では、NTT西日本株式会社を事業者として初期投資への補助制度を創設し、町内62・63局を対象とした光通信網の整備に取り組んでまいりました。

すでに主要な町有施設等への接続も完了し、一般加入率も約35%に届く勢いがありますが、未整備地域への継続的な投資や、観光・福祉・教育分野へのICT促進が喫緊の課題とされております。

このような現状を踏まえ、通信事業者との情報共有・連携強化を図りながら、移住・定住、サテライトオフィスなどの企業誘致を積

極的に推進し、更なる地域産業の活性化に努めてまいります。

また、本年4月には伊豆半島ジオパーク世界認定が確実視されるなか、町内に数多く点在するジオサイトとともに、貴重な歴史的構築物や壮大な景観美を併せ持つ石廊崎オーシャンパークには、国内外からの来訪客獲得に大きな期待が寄せられており、平成30年度からのJR6社及び美しい伊豆創造センターを中心とした構成市町、観光協会、各関係事業者等が一体となって取り組む国内最大の「DESTINATIONキャンペーン」においては、その事業規模からも地域経済活性化への期待が日に日に高まりつつあるなか、伊豆圏域にもたらす3か年での事業効果は計り知れないものと推測されておりますので、この好機を逃さぬよう、各種施策の展開を図ります。

以上、平成30年度の町政運営に対する基本的な考え方とその概要を申し延べましたが、全国の特に小規模自治体においては、行財政改革や定員管理等からも行政組織の再編・集約化及び自治体間連携などが求められており、行政効率の更なる向上に向けて適正な組織規模・人事配置など、身の丈に合った体制整備が急務とされております。

このため本町では、第3次南伊豆町行政改革大綱に掲げた基本姿勢を念頭に、行財政改革の一層の推進を図るとともに、将来にわたって活力あふれる魅力的なまちづくりの確立に向けて、町民の積極的な行政参加と協働を基軸とした真の住民自治の発展に努めるとともに、今後も「町民ファースト」の町政実現に注力し、安心・安全な町政運営に努めながら、山積する課題解決に真摯に取り組み、我が町、南伊豆町の更なる発展を目指してまいります。

平成30年度 当初予算

本町においては、主要産業である観光業の低迷や人口減少等により町税の伸びが期待できない現状にあるなか、歳入の約7割を依存財源に頼らざるを得ないことから、補助金・交付金などの制度改正の影響を受けやすい体質となっており、財政状況は依然として厳しい状況にあるため、今後も国・県の動向に十分留意しながら将来を見据えた中長期的な財政ビジョンが求められております。

平成30年度予算編成においては、第5次南伊豆町総合計画におけるまちづくりの主要課題を踏まえつつ、基本構想・基本計画に掲げる各種目標・政策を着実に推進するものであり、地域を経営するという発想のもと「地域力」の強化に努め、限られた財源のなかで、地域資源を最大限に活用しながら、これまでの施策・事業の進捗状況を的確

に捉え、PDCA サイクルなどの業務管理手法や、KPI（重要業績指標評価）を踏まえたなかで、今後の施策展開に反映させることが極めて重要となります。

さらには、住民満足度を重視した効率的・効果的な行政運営が強く求められていることから、常に歳出削減・費用対効果・平準化等を念頭に政策選択の最適化に努めてまいります。

具体的な施策・事業等については、第5次南伊豆町総合計画、南伊豆町過疎地域自立促進計画を基本とし、南伊豆町人口ビジョン及び南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合性を図るとともに、多様化・高度化する住民ニーズや自治体を取り巻く環境等を的確に把握し、事業効果と優先順位に配慮し適切な予算配分に努めます。

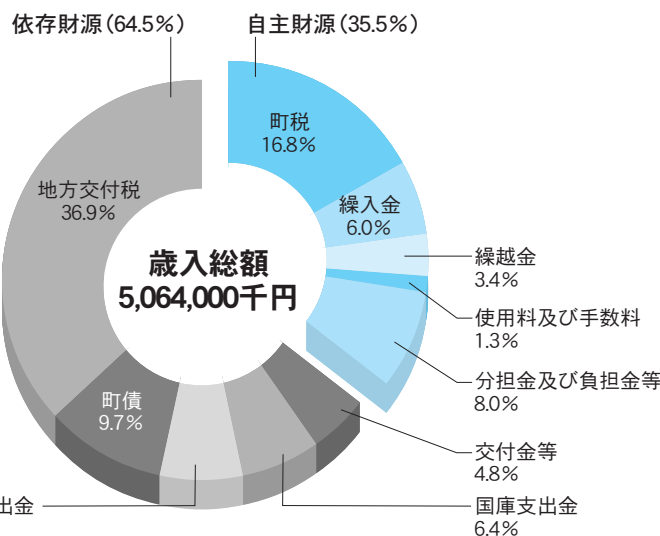
一般会計 歳入 50億6,400万円

自主財源 35.5%

地方公共団体が自主的に収入できる財源

依存財源 64.5%

国や県に頼り、定められた額を交付される財源



町税 8億5,190万5千円

町民の皆さまに納めていただく税金。町民税、固定資産税など

繰入金 3億465万5千円

各種基金（貯金）から繰り入れるお金

繰越金 1億7千万円

平成29年度剰余金の繰り越し

使用料、手数料 6,460万4千円

保育料、町の施設の使用料、証明手数料など

負担金、分担金等 4億870万円

特定のサービスを受けた方から負担していただくお金

交付金等 2億4,380万円

国から一定の割合で配分、譲与されるお金

国庫支出金 3億2,196万2千円

町が行う特定の事業に対して国から交付されるお金

県支出金 3億3,937万4千円

町が行う特定の事業に対して県から交付されるお金

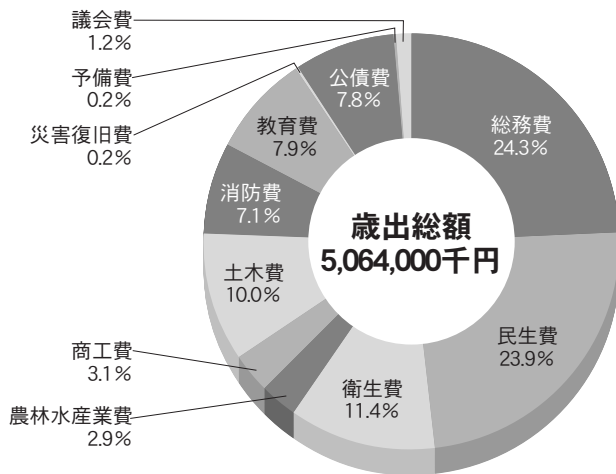
町債 4億8,900万円

町の借金。大規模な事業を行うため、国などから借りるお金

地方交付税 18億7千万円

町が標準的な仕事をする際に不足する財源を補てんするため、国から交付されるお金

一般会計 歳出 50億6,400万円



主な事業

- 石廊崎オーシャンパーク整備工事
2億9,829万4千円
- こども医療扶助費
2,506万円3千円
- 高校生バス通学補助事業補助金
1,618万円
など

議会費 5,902万7千円
議員報酬や議会の運営経費など

農林水産業費 1億4,689万6千円
農業・林業・漁業の振興経費など

教育費 4億240万1千円
小中学校の管理運営費、生涯学習などの費用、図書館の運営費など

総務費 12億3,028万9千円
行政全般の事務に関する経費、企画調整、財産管理経費など

商工費 1億5,573万3千円
商工業、観光業の振興に関する経費など

災害復旧費 973万円
災害復旧費用

民生費 12億979万5千円
高齢者、心身障害、母子などの福祉事業や子育て支援の経費など

土木費 5億814万3千円
道路・河川などの改良事業費や維持管理費、下水道事業特別会計への繰り出しなど

公債費 3億9,499万1千円
事業を行うために借りたお金(町債)の元金・利子の償還費用

衛生費 5億7,935万5千円
住民検診などの健康管理、ごみ焼却施設の運営管理経費など

消防費 3億5,764万円
消防組合および消防団の経費や防災対策経費など

予備費 1千万円
予算編成の際、予期しなかった支出に対応するための費用

特別会計予算 32億6,724万円	
国民健康保険特別会計	15億5千万円
介護保険特別会計	12億4,784万1千円
後期高齢者医療特別会計	1億2,768万7千円
南上財産区特別会計	22万円
南崎財産区特別会計	42万円
三坂財産区特別会計	776万7千円
土地取得特別会計	1千円
指導主事共同設置事業特別会計	3,181万円
公共下水道事業特別会計	2億4,125万9千円
子浦漁業集落排水事業特別会計	3,488万7千円
中木漁業集落排水事業特別会計	852万4千円
妻良漁業集落排水事業特別会計	1,682万4千円

企業会計予算 5億7,277万4千円	
水道事業会計	5億7,277万4千円

用語の解説

一般会計

町税および国や県からの補助金などを主な財源とする。行政運営の基本となる会計で、町が行う事業の大部分を占める。

特別会計

特定の事業を行うための会計で、主として保険料や使用料などの収入で賄う。

企業会計

公共の利益を目的にして経営する事業で、独立採算型の会計。



地域の保健福祉の中心へ 南伊豆町健康福祉センター完成

「南伊豆町健康福祉センター」が完成しました。

この「南伊豆町健康福祉センター」は、町民の健康増進と福祉サービスの拠点施設として、地域包括支援センター、社会福祉協議会、会議室、相談室、診察室、様々な利用ができる多目的ホール、調理室を整備しました。

幼児から高齢者まで多くの町民が利用し、町の拠点施設として皆さまに親しまれる施設を目指します。

利用方法

健康福祉センターを使用しようとする場合は、使用する月の3か月前の1日から使用する日の14日前までに、申請手続きを行ってください。

※申請書等は、地域包括支援センターまたは役場福祉介護課にあります。

区分	午前	午後	夜間
	8:30~12:30	13:00~17:00	17:30~21:30
多目的ホール	2,000円	2,000円	2,000円
会議室	1,000円	1,000円	1,000円
調理室	1,000円	1,000円	1,000円

【注意】

- ・使用時間には、準備および後片付けの時間を含みます。
- ・町民以外の方が利用する場合は、上記の額の倍額を徴収します。

施設移転のお知らせ

地域包括支援センターと社会福祉協議会は健康福祉センター内に移転しました。新しい連絡先は下記のとおりです。

新連絡先

- 地域包括支援センター ☎ 36-3335
- 社会福祉協議会 ☎ 62-3156

施設概要

所在地	南伊豆町加納790番地
敷地面積	2,459.02㎡
総延床面積	947.84㎡
建築面積	693.66㎡



施設案内

2階	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会 ・会議室 ・調理室
1階	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター ・相談室 ・診察室 ・多目的ホール

問合せ

福祉介護課 介護保険係
☎ 62-6233

平成30年度 町の組織案内

開庁時間 8:30～17:15

※土日祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は、特別な業務を除き、業務を行っていません。

総務課	総務係	町長秘書、行政、選挙、人事、条例、行政協力員、情報公開、行財政改革、町長会事務局 等
	財政係	予算・決算、公会計改革、入札・契約、入札参加申請、工事検査、庁舎管理、財産管理 等
	防災係	防災、消防、交通安全、自衛隊、暴力追放、防犯 等
☎ 62-6211 ☒ soumu@town.minamiizu.shizuoka.jp		

企画課	企画係	石廊崎開発、半島振興、新エネルギー、コミュニティ、バス対策、国土・土地利用、広域連携、ジオパーク 等
	情報政策係	広報・公聴、統計調査、基幹情報電算業務、光通信、タウンプロモーション 等
☎ 62-6288 ☒ kikakuc@town.minamiizu.shizuoka.jp		

地方創生室	地方創生係	地方創生、生涯活躍のまちづくり、総合計画、過疎・辺地、移住定住、地域おこし事業 等
☎ 62-1121 ☒ sousei@town.minamiizu.shizuoka.jp		

商工観光課	観光推進係	観光、町営温泉施設・道の駅管理、観光施設整備事業、緑化 等
	商工振興係	商工、ふるさと寄附、企業誘致（町有地利活用、内陸フロンティア） 等
☎ 62-6300 ☒ shoukou@town.minamiizu.shizuoka.jp		

地域整備課	公共管理係	公共土木施設管理、占用、境界立会、都市計画、建築確認、自然公園法、町営住宅 等
	建設整備係	公共土木・港湾・漁港・農林施設設計施工監理、災害復旧事業、急傾斜 等
	農林水産振興係	農林水産振興、松くい虫、鳥獣保護、有害鳥獣対策、治山、農業委員会、水田転作、地籍調査 等
☎ 62-6277 ☒ tseibi@town.minamiizu.shizuoka.jp		

教育委員会	社会教育係	社会教育、社会体育、生涯学習、文化財、芸術文化、青少年健全育成、男女共同参画、図書館関係 等
	学校教育係	学校教育、学校施設整備、学校給食、学校会計庶務 等
☎ 62-0604 ☒ kyoin@town.minamiizu.shizuoka.jp		

※学校給食調理業務および図書館業務を、シダックス大新東ヒューマンサービス(株)静岡営業所に委託しています。

町民課	課税係	町民税、法人町民税、軽自動車税、国保税、入湯税、固定資産税 等
	納税係	町税徴収、滞納処分 等
	住民年金係	戸籍、住民票、印鑑証明、火葬許可、人権相談、国民年金、旅券事務 等
☎ 62-6222 ☒ cyoumin@town.minamiizu.shizuoka.jp		

健康増進課	国民健康保険係	国民健康保険（給付）、後期高齢者医療保険、特定健診 等
	健康増進係	予防接種、健康増進事業（各種がん検診、健康教育・相談）、保健協力委員、母子・歯科・精神保健、患者輸送車 等
☎ 62-6255 ☒ kenkouz@town.minamiizu.shizuoka.jp		

福祉介護課	子育て支援係	認定子ども園事務、母子・子ども医療、児童手当 等
	介護保険係	介護保険
	福祉係	民生児童委員、老人・障害福祉、生活保護、災害救助、日赤・共同募金 等
☎ 62-6233 ☒ fukukai@town.minamiizu.shizuoka.jp		

福祉介護課 (健康福祉センター内)	地域包括支援センター	介護予防事業、介護予防給付、高齢者総合相談、権利擁護事業 等
☎ 36-3335 ☒ fukukai@town.minamiizu.shizuoka.jp		

生活環境課	水道係	企業会計、上水道・簡易水道施設の維持管理、水道工事の設計・施工監理、水質検査 等
	下水道係	下水道工事、クリーンセンター等施設の維持管理、漁業集落排水施設管理 等
	生活環境係	環境、公害、生活排水監視、犬の登録、ごみ処理・収集事務、ごみ処理施設広域化 等
☎ 62-6270 ☒ seikatsuk@town.minamiizu.shizuoka.jp		

※検針、水道料金、下水道料金および畜犬手数料の徴収を、(株)フューチャーイン静岡支店に委託しています。

※上下水道施設の管理業務、清掃センター運転管理業務および廃棄物処理手数料（持込手数料）の徴収業務を、(株)ウォーターエージェンシー南伊豆管理所に委託しています。

会計室	会計係	町公金の収納・支払い、県収入証紙の売捌 等
☎ 62-6220 ☒ kaikei@town.minamiizu.shizuoka.jp		

議会事務局		議会、監査事務 等
☎ 62-6240 ☒ gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp		

いつまでも住み慣れた場所で暮らすために 南伊豆町高齢者保健福祉計画

高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して、自分らしく、生きがいをもって暮らせるように、平成30年度から3年間の「南伊豆町高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」を策定しました。

基本理念

高齢者が自分らしく自立した暮らしを送れる生涯活躍のまち

健康づくりや介護予防、生きがいづくり、社会参加の促進などに取り組むとともに、介護や支援が必要になった場合には、介護保険サービスをはじめ、多様な支援やサービスによって高齢者の暮らしを支える地域包括ケアシステムの構築を目指します。

計画の5つのポイント

- 1 健康な老後に向けた施策の展開
- 2 高齢者への敬愛と自立した生活を支える多様な支援策の展開
- 3 認知症施策の展開
- 4 在宅介護を支える施策の展開
- 5 介護保険制度の持続性を高める施策の展開



計画の方針

基本方針1 高齢者が住みやすいまち

生涯にわたって自分らしく自立した暮らしを安心して送れるように、行政、事業所、ボランティア、NPO、地域住民など多様な主体の参画を促し、連携しながら、地域の社会資源を様々な形で活用していく地域包括ケアシステムの構築を目指します。

また、高齢者が必要とする各種情報の提供、バリアフリーおよびユニバーサルデザインにもとづくハード・ソフトの整備、安全の確保など、高齢者が住みやすいまちに向けた取組を推進します。

主な取組

- ・地域包括支援センターの機能強化
- ・地域福祉活動との連動による地域支援体制の充実
- ・福祉の担い手の育成
- ・高齢者の安心・安全の確保など

基本方針2 安心して介護サービス等が利用できるまち

支援を必要とする高齢者が、今後一層増えていくことが見込まれる中、持続性のある介護保険制度の運営が重要となっています。

高齢者が生涯にわたって住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を送れるよう、一人ひとりの状況に応じた介護サービスの提供をはじめとする介護保険制度の充実に向けて取り組みます。

主な取組

- ・介護保険、介護予防サービスの推進
- ・地域支援事業の推進
- ・介護保険事業費の算定など

基本方針3 健やかにいきいきと暮らせるまち

高齢者一人ひとりの健康づくりや介護予防の取組が向上するように保健福祉サービスの充実を図るとともに、高齢者自身が地域の様々な活動に参加し、地域とつながりをもっていきいきと暮らせるように支援します。

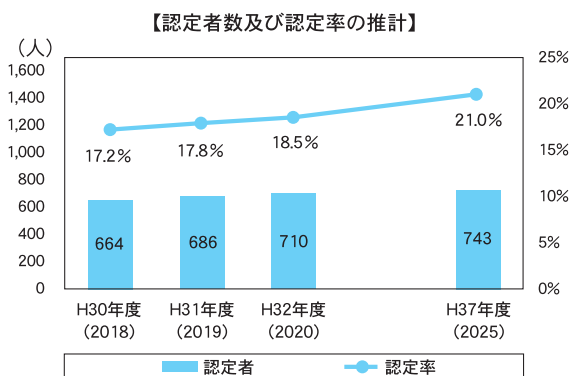
主な取組

- ・高齢者福祉サービスの充実
- ・高齢者保健サービスの充実
- ・健康づくり、介護予防の推進など

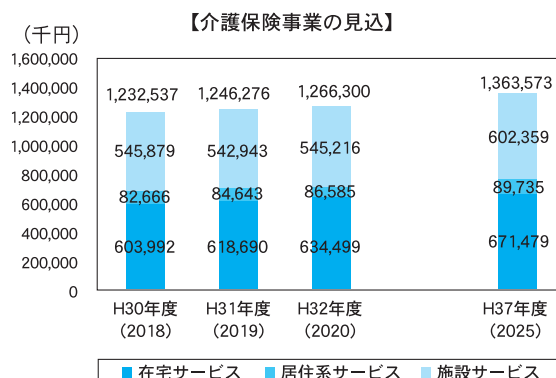
第7期 介護保険事業計画策定

要介護（支援）認定者・介護給付費とも増える見込み

認定者は2025年には高齢者の1/5が該当



介護保険にかかる経費も1.3倍に増える



町ではこんな取組をしています

要介護認定者は、専門性の高い介護サービスを受けられます。65歳以上の要支援認定者および総合事業対象者（生活機能低下がある方）は、ボランティアなどによる地域の資源を活用した家事援助や、短時間の通いを利用することができます。

通所型サービス	
内容	体操・レクリエーションなど介護予防のための活動（送迎あり）
時間	10:00～14:00
場所	あったかクラブ（下賀茂） 連（れん）（青市）
利用料	1回300円

訪問型サービス	
内容	掃除・買い物・調理などの生活援助
時間	1回30～60分
場所	えぶろんサービス（加納） 生活支援サポーター（加納）
利用料	1回200円



※上記サービスの詳細などは地域包括支援センターまでお問合せください。

問合せ
福祉介護課 介護保険係
☎ 62-6233
地域包括支援センター（健康福祉センター内）
☎ 36-3335



子宮頸がん検診を 受けましょう

検診車による集団検診と、医療機関での個別検診を実施します。2年に一度は必ず検診を受けましょう。

	集団検診	個別検診
日時	① 5月25日（金）12：00～15：00（70人程度） ② 5月26日（土）8：45～11：45（70人程度）	5月7日（月）～7月13日（金）
場所	①役場 多目的室、②役場 郷土館 ※検診自体は検診車でいきます。	下田メディカルセンター、臼井医院、 小川クリニック、伊豆今井浜病院
負担金	町国民健康保険加入者、70歳以上の方…無料 上記以外の方…1,200円	町国民健康保険加入者、70歳以上の方…無料 上記以外の方…1,700円
予約先	役場 健康増進課 ☎62-6255 ※予約期間 4月9日（月）～20日（金）	各医療機関へ直接お申込みください。
対象者	20歳以上で偶数年齢の方（基準日：平成31年3月31日）	
その他	20～40歳の方、町の検診を希望している方については、個別通知を送付しています。 対象年齢で問診票が届かず、受診を希望される方はご連絡ください。	

問合せ 健康増進課 健康増進係 ☎62-6255

町の未来をどう考えていますか？ 町長と未来を語ろう

よりよい町づくりに向け、町民の皆さまとの対話を通じて一緒に未来を考え、皆さまからの提案を町政に反映させることを目的に「町長と未来を語ろう」を受け付けています。



【対象者】

原則として町内にお住まいの方で、2人以上のグループ

【開催場所】 役場 会議室

【時間等】

9：00～20：00（月～金 ※土・日・祝日を除く）

【申込方法】

開催の2週間前までに総務課へお申込みください。

【注意事項】

- ①希望日時に合わせて日程調整をしますが、職務などの都合上、ご希望に添えない場合もあります。
- ②基本的に要望等のご遠慮ください。皆さまからのご提言やご提案をお願いします。
- ③内容によっては、その場で回答できない場合もあります。

▼平成29年度の実績

実施月	件数	内訳
11月	2件	女論の会、石廊崎区
12月	2件	みいず、上小野区

申込み・問合せ

【内容について】

企画課 企画係 ☎62-6288

【時間等について】

総務課 総務係 ☎62-6211

2/22 苦い?甘い? お茶講座



お茶の正しい入れ方を体験する児童たち

南中小学校の5・6年生が日本茶のインストラクターから、静岡茶の美味しい入れ方を学びました。1から3煎目のお茶の飲み比べも行い、児童たちは普段とは違うお茶の風味を感じていました。

2/25 定期検診を がん講演会



講演会の様子

伊豆今井浜病院の吉田麻美医師を講師に招き、がん予防講演会が行われました。子宮頸がんについて、原因や予防、治療の方法などを講演され、検診による早期発見、早期治療を呼びかけました。

3/1 100歳おめでとうございます



岡部町長から花束を受け取る肥田さん

この度、100歳を迎えた伊浜の肥田徳治郎さんをお祝いするため、町長がなぎさ園を訪問しました。元気の秘訣は何でも食べることだそうです。これからもお元気にお過ごしください。

3/4 自治体間連携老人ホーム完成



共同記者会見の様子

町、県、杉並区、社会福祉法人「梓友会」が連携して建設した「エクレシア南伊豆」の竣工式が行われました。今後もさらなる交流が期待されています。

3/10 自然の恵みに感謝



ソーセージを調理する参加者たち

「ふるさと学級」の一環としてジビエクッキングが行われました。講師の話聞きながら山の散策や、シシ肉を使ったジビエ料理を体験し、命の大切さや里を守ることの大切さを学びました。

3/11 伝統芸能などを披露



舞踊を披露する出演者たち

第23回南伊豆町芸能部門発表会が、役場湯けむりホールで行われました。文化協会加盟団体に南伊豆中学校を加えた15団体が、日頃の練習の成果を披露し、観客を魅了していました。

今月のおすすめ



「15歳のコーヒー屋さん」
岩野響著／KADOKAWA
発達障害を抱えた著者が、なぜ15歳にしてコーヒー焙煎士の道を選択したのか。人生に正誤表を当てはめたがる社会へ疑問を投げかける一冊。



「お母さんおやつ」
トミタセツ子著／主婦の友社
子どもの頃に食べたお母さんのおやつ。記憶の中で大切に息づく「世界で一番おいしいおやつ」を完全再現。舌と思い出を満足させるレシピ本。



「のこった」
星野智幸著／ころから
相撲は一体誰のモノなのか？誰かのモノでなければならぬのか？神事、差別、品格等々、大相撲を取り巻く社会と行く末を綴ったエッセイ。



「棲月」
今野敏著／新潮社
銀行と鉄道を狙ったサイバーテロ。捜査を進める内に、同時期に起こったリンチ殺人との奇妙な繋がりが見えてくる…。隠蔽捜査シリーズ最新作。



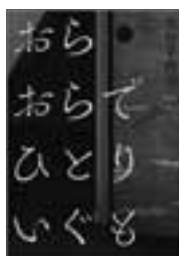
「百年泥」
石井遊佳著／新潮社
インドを襲った百年に一度の大洪水。それは大量の泥が人々の脳を侵食し、やがて混沌を作り出す不可思議な世界の始まりだった。芥川賞受賞作。



「風神の手」
道尾秀介著／朝日新聞出版
パラパラに見えた幾つもの過去が、数十年の時を経て、老女の告白と共に1つの隠された事実を浮かび上がらせる……。壮大な傑作ミステリー。



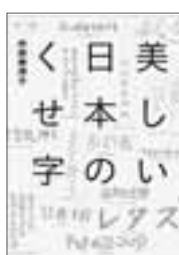
「大獄」
葉室麟著／文藝春秋
西郷隆盛が、「吉之助」と呼ばれていた若き日。いかにして指導者としての礎を築いていったのか。昨年急逝した時代小説の名手が描く傑作歴史小説。



「おらおらでひとりいぐも」
若千竹佐子著
／河出書房新社
捨てた故郷、疎遠になった息子と娘、そして亡き夫への愛。74歳、一人暮らしの主人公が辿り着いた悲しみの果てとは……。芥川賞受賞作。



「廃墟遺産」
アレックス・ピアモンテシ著／エクスナレッジ
いかにして廃墟は生まれたのか。建築プロジェクトを失敗に至らしめた原因を多数の写真と共に探っていく、廃墟マニア垂涎の一冊。



「美しい日本のくせ字」
井原奈津子著
／バイインターナショナル
くせ字蒐集家である著者が約30年に渡って収集した、世界的スターから道端の名も無きくせ字までタップリ紹介。眺めているだけで楽しい一冊。

— 新着図書案内 —

本の本	夢眠ねむ
ずるい人が周りからいなくなる本	大嶋信頼
孤独を生きる言葉	松浦弥太郎
ルポ不法移民	田中研之輔
働く、働かない、働けば	巳年キリン
休むことも生きること	丸岡いずみ
ドクター古藤の家庭菜園診療所	古藤俊二
友情	山中伸弥・平尾誠二
清張鉄道1万3500キロ	赤塚隆二
牛天神	山本一力
英龍伝	佐々木譲
父子ゆえ	梶よう子
異形のものたち	小池真理子
ウズタマ	額賀 滯
はじめての八十歳	山藤章二

図書館利用案内

利用者カードの交付

初めて本を借りるときは登録申込書に必要事項を記入し、免許証や保険証等、住所・氏名を確認できるものを提示してください。

借りるとき・返すとき

本を借りるときは、借りたい本と利用者カードをカウンターへお持ちください。貸出期間は3週間、貸出冊数に制限はありません。

返却本はカウンターへ置いてください。休館中・夜間の返却は玄関脇のブックポストに入れてください。

おはなしの会「ピロシキ」

公演会のお知らせ

日時 4月22日(日) 14:00 開演
場所 役場 湯けむりホール
(入場無料)

子どもから大人まで楽しめる内容となっています。皆さまお誘い合わせの上、ご来場ください。

健康レシピ

混ぜるだけ ～切干大根サラダ～



▷ 材料 / 4人分 ◁

(1人分エネルギー44kcal、タンパク質1.6g、脂質0.2g、塩分0.8g)

- 切干大根……………30g
- カットわかめ…1g
- コーン缶……………1缶(約85g)
- ポン酢……………大さじ3

▷ 作り方 ◁

- ①切干大根をキッチンばさみで短く切る。
- ②ポリ袋に①とカットわかめを入れ、約100ccの少量の水を入れてよく揉んで戻す。
- ③②にコーン缶を汁ごと入れて一緒に混ぜる。
- ④③に調味料を加えて混ぜる。

ここがポイント!



- ・火がなくても、包丁がなくても簡単につくれます。

毎月19日は『食育の日』
～「いただきます」から始まる食卓～



なすみかい
南豆味会 (健康づくり食生活推進協議会)
問合せ 健康増進課 ☎ 62 - 6255



町内の魅力を見学

「移住現地ツアー」



上賀茂にある空き家物件見学の様子



地元の方に郷土料理「とりめし」の作り方を教わりました。

新年度が始まり、川沿いのソメイヨシノや里山に映える白いヤマザクラもきれいな時期になってきました。2月後半のことになりますが、町では移住を希望する方を対象とした現地ツアーを2つ実施し、計40名以上の方が参加しました。

まず先に行われたNPO法人伊豆未来塾が主催するツアーでは、先輩移住者宅で南伊豆町へ実際に移住してみた感想を聞いたり、町内に住んでいるお母さんたちから南伊豆周辺地域の郷土料理である「とりめし」の作り方を教わりました。

次に行われた杉並区民を対象としたツアーでは、町内に新しくオープンした特別養護老人ホーム「エクレスシア南伊豆」を見学したり、農林業

や介護関係の職場を見学し、移住後の仕事について考えたりしました。夜はお母さんたちの作った美味しい郷土料理を食べながら、地元の人たちと交流を深めました。

現地ツアーでは、町への移住を考えている方たちと町民の繋がりが生まれたり、移住を考えている方同士の間につながりもできます。また、移住についての考えや悩み、移住後の不安などを共有でき、その場で先輩移住者に相談することができるといったメリットがあります。今回のツアーをとおして、参加者の皆さまが町への理解と関わりを深め移住することで、町の活性化につながってくれば嬉しいです。

隊員 鏑木

お知らせ

春の農作業安全運動 実施中

4月1日から5月31日までの2か月間、県内全域で、春の農作業安全運動が行われます。平成28年の全国の農作業中の死亡事故は、前年より26件減少し312件でしたが、依然として高い水準にあり、65歳以上の高齢者が81%を占めていました。

県内では、平成28年に4件の死亡事故が発生しており、うち3件は農業機械による事故となっています。

農作業事故の多くが、単純なミスによるものであり、十分注意することで防ぐことができます。基本的な注意事項を確認し、事故の原因を一つ一つ取り除き、農作業事故ゼロを目指しましょう。

【チェックポイント】

- 1 安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用しましょう。
- 2 シートベルトを着用しましょう。
- 3 作業環境を確認し、危険性に配慮しましょう。
- 4 適正な機械使用を心がけましょう。

問合せ 地域整備課 農林水産振興係
☎62-6277

銃砲刀剣類登録審査会 開催

銃砲刀剣類は、銃砲刀剣類所持締法第3条により、一般にその所持は禁止されていますが、美術品として価値のあるものについては、同法14条により、登録審査会の審査を受け、登録証が交付されたものは所持することができます。

下記会場で登録審査を受けることができます。詳しくは下記までお問合せください。

日時 5月15日(火) 9:30~11:30
12月4日(火) 9:30~11:30

場所 静岡県東部総合庁舎
(沼津市高島本町1-3)

問合せ 静岡県教育委員会
文化財保護課

☎054-221-3158

肝炎・HIV検査等 実施

賀茂保健所では、毎月、肝炎検査・HIV検査梅毒検査・骨髄バンクドナーの登録を行っています。

日時 4月19日(木) 9:00~12:00
※5月以降の日程については、下記までお問い合わせください。

場所 下田総合庁舎別館1階相談室
検査料 無料

申込方法 電話による事前予約
(検査前日の16:00まで)

その他 相談は随時受け付けています。

申込み・問合せ

賀茂保健所 地域医療課

☎24-2052

ひとりで下校するとき が危ない！

平成29年中、下田警察署管内での「声かけ事案などの不審者情報」は8件の通報がありました。

子どもが不審者に声をかけられる時の多くは、1人で下校している時でした。お子さまのいるご家庭は、ランドセルに防犯ブザーを付けたり、いざという時に逃げ込める【こどもをまもる家】の場所を確認しておく等、防犯対策をお願いします。

問合せ 下田警察署管内防犯協会

☎27-2766

「わかふじスポーツ 大会」開催

第19回静岡県障害者スポーツ大会(わかふじスポーツ大会)の出場申込受付を開始します。詳しくは、下記までお問い合わせください。

申込期間

4月9日(月)~5月7日(月)

申込み・問合せ

(公財)静岡県障害者スポーツ協会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町

1-70 静岡県総合社会福祉会館内

☎054-221-0062

FAX054-651-2600

☒s-spokyo@za.tnc.ne.jp

国家公務員採用一般職 試験受験者募集

試験日

●第1次試験 6月17日(日)

●第2次試験 7月18日(水)

~8月3日(金)のうち指定する日

受験資格

①昭和63年4月2日

~平成9年4月1日生まれの方

②平成9年4月2日以降生まれの方

で、大学を卒業した方および

平成31年3月までに大学を卒業

する見込みの方等

申込方法 インターネット申込み

(<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>)

申込期間 4月6日(金) 9:00

~4月18日(水) ※受信有効

問合せ 人事院中部事務局

☎052-961-6838

国税専門官採用試験 受験者募集

試験日

●第1次試験 6月10日(日)

●第2次試験 7月11日(水)

~19日(木)のうち指定する日

受験資格

①昭和63年4月2日~平成9年4月1日生まれの方

②平成9年4月2日以降生まれの者で次に掲げる方

・大学を卒業した方および平成31年3月までに卒業見込みの方

・人事院が上記に掲げる方と同等の資格があると認める方

申込方法 インターネット申込み

(<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>)

申込期限 4月11日(水) ※受信有効

問合せ

名古屋国税局 人事第二課 試験係

☎052-951-3511



メディカル通信

ポツリヌス治療外来の開始



脳卒中の後遺症としてみられる運動障害に痙縮けいしゆくがあります。痙縮とは、意思とは関係なく筋肉の緊張が高まり、手や足が勝手につっぱったり曲がったりしてしまう状態のことです。

当院では痙縮に悩まれている患者さまの手足の痙縮軽減、痛みの緩和、関節可動域の増加、日常生活動作の向上による介護負担軽減などに向け、ポツリヌス療法を開始します。

治療には定期的な注射が必要となり、効果は注射後2～3日目か

ら現れ、通常3～4か月持続します。費用は部位や範囲により異なりますのでご相談ください。

当院では脳神経外科にて診療を行います。対応可能な対象疾患は、手足（上肢・下肢）の痙縮、眼瞼痙攣、片側顔面痙攣となります。※予約制です。下記専用ダイヤルへご連絡ください。

専用ダイヤル ☎ 3 8 - 0 4 4 3

受付時間 毎月第2月曜日
13:00～16:00

☎ 下田メディカルセンター
☎ 2 5 - 3 5 3 5

交流自治体 だより

東京都杉並区



【高円寺びっくり大道芸 2018】

今年で10回目となる「高円寺びっくり大道芸 2018」が、4月28日、29日の2日間高円寺駅前の商店街や公園で開催されます。

高円寺のまちを舞台に、空中ブランコ、中国雑技、ジャグリング、パントマイムやマジックなど、29会場で、国内外の選りすぐりのパフォーマー47組90名が驚きと笑いで溢れる技を披露します。

「高円寺びっくり大道芸」は、地域に根差した芸術文化発信の拠点である区立杉並文化会館「座・高円寺」のオープン記念として、

また地域の振興と高円寺商店街活性化を目的として、平成21年に始まり、年々規模も大きくなり、春の定番行事として定着しています。

☎ 杉並区 区民生活部 文化・交流課

☎ 0 3 - 3 3 1 2 - 2 1 1 1



戸籍の窓

赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
青野	鈴木 望生	2.17	智洋・知映里

結婚お幸せに

地区	お名前（旧姓）	婚姻日
下賀茂	渡邊駿・慶子（大原）	2.1
子浦	柏木大行・育美（神谷）	2.9

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
下賀茂	萩原 優	77	2.1
大瀬	菊池 光治	60	2.3
大瀬	渡邊 宗紀	63	2.5
下流	鈴木 三江	81	2.8
石井	土屋 忠儀	74	2.12
差田	外岡徳三郎	83	2.15
入間	外岡 益夫	93	2.19

平成30年2月1日から2月28日までに届出のあったもの（敬称略）

※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時に申し出ください。

人の動き

（3月1日現在）

世帯数 3,917世帯

人口 8,493人（-10）

男 4,076人 女 4,417人

-----（2月中）-----

転入 15 転出 11

出生 1 死亡 15

4月は、固定資産税、国民年金保険料の納付月です。

納期限内に忘れずに納めましょう。
税金・料金の納付は便利な口座振替で。お申込みは、各金融機関窓口まで。



まちの人

作り手の思いを届ける

山本 せいじ 清治 さん（上賀茂）

上賀茂で酒屋を営む山本さん。
南伊豆ブランド「身上起」の生産に携わる。

「自分の足で酒蔵に赴き、これだと思うお酒を店に置く」ということが私のポリシーです。

「南伊豆ブランド」を手掛けようとした時に考えたことは、小さな町の無名の一品に目を向けてもらうためにはどうしたら良いかということでした。

私はその品の歴史や背景を知ってもらい、興味を持ってもらうことが重要だと思います。素晴らしい一品には、完成させるまでに関わってきた何人もの思いが込められているからです。私が全国

の酒蔵を巡る理由は、実際に作り手の話を聞くことで、別の土地でその知識や物語を伝えていくことができるからです。

「灯台下暗し」という言葉がありますが、（どんな分野でも）町内の方が気づいていない町の魅力はまだまだたくさんあると思います。少しでもそれらを発掘する手助けになるよう、今まで培ってきた経験を信じて、これからも町の魅力を町内外に伝えていきたいと思っています。

健康一口メモ



心と身体に健康に欠かせない「睡眠」

4月といえば新生活。入学や就職などで、周囲の環境がガラッと変わるという方も多いのではないのでしょうか。

環境が変わると新しい生活習慣、人間関係など慣れるまで心身ともに疲れを感じます。そこで大切なことは、健康づくりの基本である「食事」

「運動」そして「睡眠」です。

睡眠には、疲れた身体や脳を回復・整備するという役割があります。睡眠不足は疲労感をもち、情緒を不安定にし、判断力を鈍らせます。また高血圧や糖尿病などの生活習慣病のリスクも高まります。

質の高い睡眠で心身を癒し、新しい活力を充電しましょう。

問合せ 健康増進課 ☎62-6255

スマイルキッズ



湊 山田 ゆう せい 結生 くん（1歳6か月）

「食べるのだいすき☆」

広報みなみいず 4月号

発行日／平成30年4月1日
発行／南伊豆町 編集／企画課 印刷／（有）サン印刷
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119
ホームページ
<http://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/>

編集後記

広報担当になって1年。どうにか休刊することなく毎月広報紙をお届けすることができました。これも多くの方に支えられたからだと思います。本当にありがとうございます。5月号からは担当が変わりますが、今後とも広報みなみいずをよろしくお願いします。👤

広報みなみいずは、再生紙を利用しています。